

日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会
確率論的安全評価（レベル1及びレベル2）分科会
第7回 レベル2 PSA作業会 議事要旨

日時：平成16年9月27日（月） 13:30～17:30

場所：原子力安全基盤機構 第13会議室

出席者：

委員 梶本、住田、立岩、大野、岡島、倉本、黒田、富澤（桜本代理）、濱崎、佐藤(久持代理)、日高、山越 12名（欠席：加藤）

発言希望者 石川（原研）

事務局 太田

配布資料：

P4WG7-1 第6回作業会議事要旨（案）

P4WG7-2 標準委員会活動概況資料

P4WG7-3 レベル1，2 PSA 審議上程スケジュール

P4WG7-4 レベル2 PSA標準（案）

P4WG7-5 シーケンスグループ・イベントツリーヘディング

-

-

議事概要

1) 前回議事要旨確認 (P4WG7-1)

- ・ 前回議事要旨について承認された。

2) 標準委員会活動概況 (P4WG7-2)

事務局より以下の紹介があった。

- ・ レベル3 PSA分科会が9月に設置されることが決定した。
- ・ 発電炉専門部会にてL1,L2PSA分科会の活動状況報告を行った。
- ・ L1,L2PSA分科会にてレベル2 PSAとのインタフェースについて説明が行われた。

3) レベル1，2 PSA 審議上程スケジュール(P4WG7-3)

- ・ 2005年1月に分科会に報告し、2005年4月に部会に中間報告する予定。

4) 人事について

事務局より、日高委員が原子力安全委員会事務局に異動になったが、当作業会の委員は継続する旨の報告があった。主査より、原研からの日高委員の後任について委員に意見を求めたところ、日高委員より本日発言希望者として出席の石川氏（原研）を推薦する旨の発言があり、全会一致で石川氏の委員就任が可決された。

5) レベル2 PSA標準（案） (P4WG7-4)

標準（案）について以下の議論があった。

- ・ 前回分科会において、レベル2 標準では不確実さ解析の章において評価すべき項目の討議があったが、レベル2 PSA特有の不確実さ、例えばエアロゾル粒径などの重要なパラメータについては解説に記載する方針とする。
- ・ 標準の記載は、イベントツリー手法をベースとしたものとする。
- ・ 用語については分科会の決定に従うこととする。
- ・ 「3. プラント構成・特性の調査」は、レベル1 標準の記載変更方針にあわせて後日変更することとする。
- ・ 「発生頻度の定量化」という言い回しは不自然なので、他に何かよい表現があればそれに換えることとする。
- ・ 次回は「7. 事故進展解析」以降について議論する。

次回までに以下の作業を実施することとなった。

- ・ 1週間後に標準ドラフト改訂版をJNESより各委員に送付
- ・ 当該資料に各委員がコメントを付記し、住田副主査に送付
- ・ 次回作業会時にコメントの取捨選択を実施

第8回作業会予定：10月26日（火）

以上